

## 防災学習と後継者育成に奮闘中



執筆者

東灘消防団本庄青木分団

分団長 松山 慎一

東灘消防団は、昨年、六甲アイランド分団も加わり、10分団160名で東灘区の防災活動を行っています。最近の活動の中に、中学2年生を対象とした、市民救命士講習があります。どうすれば分かりやすく楽しく教えられるか、少しはウケも狙うため、お笑いのDVDを見て勉強するなど（笑）、毎回悪戦苦闘しています。子どもたちに命の尊さ、そして自分から「アクション」を起こす勇気の大切さを感じてもらい、自分で経験することによって、自分でもできるという自信をもってもらえるよう、実習ではいろいろなシミュレー

ションを取り入れていきます。

実際そういふ場面に遭遇することはなかなか無いと思いますが、子どもたちには、身近な人に何かあったときに、講習の経験を生かして家族や大切な人を自分で守ってあげてくださいと実習の際に伝えていきます。

また、本年から小学生の防災教育にも力を入れており、1月16日に開催された本庄小学校防災体験学習（対象は6年生115名）では、本庄小学校区防災福祉コミュニティとともに、本庄青木分団の7名の団員が参加し、三角巾を使った応急処置や消火器訓練などを行いました。特に三角巾の応急処置訓練は、前日に防災福祉コミュニティの方々と一緒に事前練習するなど、力の入った教育となりました。このような防災学習を通じて、多くの子どもたちに防災に関心をもってほしいと願ってい

ます。

今、特に

力を入れなければならないのが後継者問題です。全国的に見ても、200万人

三角巾の指導をする松山分団長



が現在のは約80万に減ったそうですが、われわれにとっても深刻な問題です。地域の防災活動や市民救命士講習会などでの活動を地域に少しでもアピールし、もっと消防団について興味をもっていただき、一人でも多くの若い人たちを誘っていきたくと考えています。まだまだ経験の浅い私ですが、この4月より分団長として先輩たちの築いてきた伝統を受け継ぎながら、新しい時代に沿った消防団活動を目指して、日々切磋琢磨し、本庄青木分団の『おとこまえなオッサン』を目指します。